

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【公開番号】特開 2016-193607 (P2016-193607A)

【公開日】平成 28 年 11 月 17 日 (2016.11.17)

【年通号数】公開・登録公報 2016-064

【出願番号】特願 2016-81724 (P2016-81724)

【国際特許分類】

B 3 2 B 1/06 (2006.01)

C 0 8 J 5/00 (2006.01)

B 2 9 C 47/04 (2006.01)

B 3 2 B 27/32 (2006.01)

B 3 2 B 27/34 (2006.01)

【 F I 】

B 3 2 B 1/06

C 0 8 J 5/00 C E R

C 0 8 J 5/00 C E Z

B 2 9 C 47/04

B 3 2 B 27/32 Z

B 3 2 B 27/34

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 21 日 (2017.6.21)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の端部および第 2 の端部を有するフィルムまたはフォームであって、前記フィルムまたはフォームが、

( a ) 熱可塑性材料を含むマトリックスであって、該熱可塑性材料がポリオレフィン、ポリアミド、ポリ塩化ビニリデン、ポリフッ化ビニリデン、ポリウレタン、ポリカーボネート、ポリスチレン、ポリエチレンビニルアルコール ( P V O H )、ポリ塩化ビニル、ポリ乳酸 ( P L A )、およびポリエチレンテレフタレートからなる群より選択されるマトリックスと、

( b ) 前記フィルムまたはフォームの第 1 の端部から第 2 の端部まで、前記マトリックス中に平行に配置された複数のチャンネルであって、お互いに少なくとも  $1\ \mu\text{m}$  離間しており、それぞれが、少なくとも  $1\ \mu\text{m}$  の範囲の直径を有する、複数のチャンネルと、

( c ) 前記複数のチャンネル中に配置された、ポリアクリルアミドコポリマー、エチレン無水マレイン酸コポリマー、架橋カルボキシメチルセルロース、ポリビニルアルコールコポリマー、架橋ポリエチレンオキシド、ポリアクリロニトリルのデンブングラフト化コポリマー、およびポリアクリル酸ナトリウム塩から成る群から選択される 1 種または複数種のポリマーを含有する少なくとも 1 種または複数種の機能性充填材材料と

を含み、前記フィルムまたはフォームが、 $2\ \mu\text{m}$  から  $2000\ \mu\text{m}$  までの範囲の厚さを有し、前記フィルムまたはフォームの厚さとチャンネルの直径の比が  $2 : 1$  から  $400 : 1$  の範囲である、フィルムまたはフォーム。

【請求項 2】

前記複数のチャンネルが、円形、長方形、楕円形、星形、ひし形、三角形、正方形、およびそれらの組み合わせからなる群より選択される断面形状を有する、請求項 1 に記載のフィルムまたはフォーム。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のフィルムまたはフォームを備える多層構造体。

【請求項 4】

請求項 1 に記載のフィルムまたはフォームを備える物品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0038

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0038】

一実施形態において、機能性充填材材料は、1種または複数種の超吸収性ポリマーを含む。そのような超吸収性ポリマーは、一般的に知られており、そのようなポリマーとしては、これらに限定されるわけではないが、ポリアクリルアミドコポリマー、エチレン無水マレイン酸コポリマー、架橋カルボキシメチルセルロース、ポリビニルアルコールコポリマー、架橋ポリエチレンオキシド、およびポリアクリロニトリルのデンブングラフト化コポリマーが挙げられる。一実施形態において、超吸収性ポリマーは、水酸化ナトリウムとブレンドされたアクリル酸を開始剤の存在下において重合させてポリアクリル酸ナトリウム塩（ポリアクリル酸ナトリウムと呼ばれることもある）を形成することによって製造されるポリマーを含む。そのような超吸収性ポリマーは、任意の方法により、例えば、懸濁重合または溶液重合などにより、製造することができる。